

## ブラジル 主要柑橘類産地の出荷量予想

FreshPlaza 2024年4月11日

柑橘類栽培防衛基金(Fundecitrus)は2024年4月10日、サンパウロ州とミナスジェライス州西南西部の柑橘類地帯の2023-24年度のオレンジ出荷量を発表した。この調査はマルケストラット社(コンサルタント会社)と、サンパウロ大学経済・経営・会計学部及びサンパウロ州立大学農獣医学部の教授陣の協力を得て実施され、総出荷量は3億722万箱(40.8kg(90ポンド)/箱)で、内訳は以下のとおりであると結論付けられた。

- 早生品種のハムリン、ウェスティン、ルビー 5,809万箱
- 早生品種のバレンシアアメリカーナ、セレタ、パイナップル及びアルボラーダ 1,851万箱
- 中生品種のペラリオ 9,762万箱。
- 晩生品種のバレンシア及びバレンシアフォリヤムルチャ 1億520万箱。
- 晩生品種のナタール 2,780万箱

このうち、約2,782万箱がトリアングロ・ミネイロ地域で生産された。今シーズンのお荷量は、2023年5月の当初予測を0.69%下回り、3億1,421万箱に達した前のシーズンと比較して2.22%少ない。当初の想定を下回った要因は、2023年の上半期は雨が多かったものの、下半期には一転して降水量不足となり、それが2024年のシーズン終了まで続いたことである。悪天候以外にも、カンキツグリーンング病の悪化や収穫ペースが早くオレンジの肥大期が短縮したことも影響している。

## オレンジ出荷量予測の更新 地域別、品種グループ別 - 柑橘類地帯

月別	予測項目				2023-24 出荷量予測改定値			2023-24 出荷量予測改定値		
	2024年2月及び4月 (見え消しの数字は2月の推計値で、左が4月の改定値)				2024年2月			2024年4月		
地域及び品種グループ	結果樹本数	果樹当たり 果実数	一箱当たり 推定果実数	推定落果率	果樹 当たり	面積 当たり	合計 出荷量	果樹 当たり	面積 当たり	合計 出荷量
	(1,000本)	(個/果樹)	(個/箱)	(%)	(箱/樹)	(箱/ha)	(百万箱)	(箱/樹)	(箱/ha)	(百万箱)
<b>柑橘類地帯(合計)</b>										
ハムリン、ウェスティン、ルビー	25,716.04	828	293	10.8	2.26	1,047	58.09	2.26	1,047	58.09
その他の早生品種	9,866.33	597	251	12.1	1.88	987	18.51	1.88	987	18.51
ペラリオ	61,508.67	563	258	19.0	1.59	837	97.62	1.59	837	97.62
バレンシア及びフォリヤムルチャ	53,648.92	653	233	22.0	1.96	969	105.20	1.96	969	105.20
ナタール	18,551.19	573	244	28.9	1.50	738	27.80	1.50	738	27.80
<b>合計</b>	<b>169,291.15</b>	<b>635</b>	<b>255</b>	<b>19.0</b>	<b>1.81</b>	<b>911</b>	<b>307.22</b>	<b>1.81</b>	<b>911</b>	<b>307.22</b>
<b>うち北部地域</b>										
ハムリン、ウェスティン、ルビー	6,503.91	1,005	289	7.2	2.89	1,246	18.79	2.89	1,246	18.79
その他の早生品種	2,191.81	779	246	8.4	2.60	1,405	5.70	2.60	1,405	5.70
ペラリオ	13,535.28	592	254	15.6	1.76	937	23.83	1.76	937	23.83
バレンシア及びフォリヤムルチャ	12,926.93	798	218	19.3	2.63	1,210	33.98	2.63	1,213	34.06
ナタール	3,774.50	655	226	17.6	2.11	964	7.95	2.12	971	8.01
<b>合計</b>	<b>38,932.43</b>	<b>746</b>	<b>246</b>	<b>14.8</b>	<b>2.32</b>	<b>1,116</b>	<b>90.25</b>	<b>2.32</b>	<b>1,117</b>	<b>90.39</b>

(以下省略)

こうした要因が重なり、特に中生と晩生の品種では果実のサイズが予想より小さくなった。収穫ペースの加速は果実の成長の点で課題となったが、未熟果の落果に起因する損失を減らすことでプラスの効果もあった。

2023年12月の収穫量予測の更新では、これらすべての要因が考慮され、出荷量が3億722万箱に修正された。この更新により、前半の豊富な雨の恩恵を受けた早生品種のオレンジは227万箱増加したが、2023年後半の降雨量の減少と気温の上昇の影響を受けたペラリオ、バレンシア、バレンシアフォリヤムルチャ、ナタールなどは439万箱減少した。2023年6月にエルニーニョ現象が発生した直後の2023年7月からは、不規則な降雨、極端な気温、複数回の熱波、蒸発散量の増加などの悪条件が強まった。エルニーニョ現象は高い強度に達し、収穫が終わるまで活発な活動が続いた。

出典: [fundecitrus.com.br](http://fundecitrus.com.br)